

第86回南あわじ市議会定例会議事日程（第1号）

令和元年8月29日（木）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 行政報告
- 第5 委員会調査報告
- 第6 議案第71号～議案第74号（4件一括上程）
- 議案第71号 南あわじ市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例制定について
- 議案第72号 南あわじ市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について
- 議案第73号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 議案第74号 南あわじ市森林環境基金条例制定について
- 第7 議案第75号～議案第77号（3件一括上程）
- 議案第75号 南あわじ市保育所設置条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第76号 南あわじ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第77号 南あわじ市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第8 議案第70号 令和元年度南あわじ市一般会計補正予算（第3号）
- 第9 議案第82号 損害賠償額の決定及び和解について
- 第10 議案第80号、議案第81号（2件一括上程）
- 議案第80号 字の区域の変更について（松帆慶野、神代地頭方地区）
- 議案第81号 松帆流域江尻排水ポンプ場機械・電気・土木工事請負契約の締結について

第11 認定第1号～認定第14号（14件一括上程）

- 認定第1号 平成30年度南あわじ市一般会計決算の認定について
- 認定第2号 平成30年度南あわじ市国民健康保険特別会計決算の認定について
- 認定第3号 平成30年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 認定第4号 平成30年度南あわじ市介護保険特別会計決算の認定について
- 認定第5号 平成30年度南あわじ市土地開発事業特別会計決算の認定について
- 認定第6号 平成30年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定について
- 認定第7号 平成30年度南あわじ市ケーブルテレビ事業特別会計決算の認定について
- 認定第8号 平成30年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計決算の認定について
- 認定第9号 平成30年度南あわじ市広田財産区特別会計決算の認定について
- 認定第10号 平成30年度南あわじ市福良財産区特別会計決算の認定について
- 認定第11号 平成30年度南あわじ市北阿万財産区特別会計決算の認定について
- 認定第12号 平成30年度南あわじ市沼島財産区特別会計決算の認定について
- 認定第13号 平成30年度南あわじ市下水道事業会計決算の認定について
- 認定第14号 平成30年度南あわじ市農業共済事業会計決算の認定について

第12 議案第78号、議案第79号（2件一括上程）

- 議案第78号 淡路広域行政事務組合同規約の変更について
- 議案第79号 淡路広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議について

# 議 員 派 遣 報 告 書

令和元年8月29日 定例会

第85回臨時会より本日までの地方自治法第100条第13項及び会議規則第162条の規定による議員派遣について、次のとおり報告します。

## 1 淡路地域正副議長会定例会

- (1) 派遣場所 淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
- (2) 期 間 令和元年8月9日
- (3) 派遣議員 正副議長

# 議 長 報 告

令和元年8月29日 定例会

第85回臨時会を令和元年7月23日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

(令和元年度)

7月	24日	北海道恵庭市議会行政視察受入（議長出席）	議員協議会室
	25日	産業厚生常任委員会	委員会室
	26日	淡路政経懇話会7月例会（議長出席）	洲本商工会議所
	〃日	南あわじ市まとい会総会（議長出席）	松葉寿司
	28日	南あわじ市男子・女子ソフトボール大会（議長出席）	三原健康広場グラウンド
	〃	兵庫県人権教育研究大会淡路地区大会（議長出席）	中央公民館
	30日	兵庫県市議会議長会総会（正副議長出席）	丹波篠山地域活性化センター
8月	1日	セライナ市学生等使節団歓迎セレモニー（議長出席）	市役所4階展望ロビー
	2日	議員協議会	議員協議会室
	〃	淡路議会議員研修会（全議員出席）	洲本市総合福祉会館
	7日	セライナ市学生等使節団さよならセレモニー（議長出席）	市役所正面玄関
	8日	南あわじ市子ども議会（全議員出席）	議場
	9日	淡路広域団体議会議員協議会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	淡路地域正副議長会定例会（正副議長出席）	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	13日	総務文教常任委員会	委員会室
	19日	南あわじ市議会議員研修会（全議員出席）	市役所304・305会議室

〃	議会広報広聴常任委員会	委員会室
21 日	淡路広域団体議会定例会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
22 日	議会運営委員会	委員会室
23 日	産業厚生常任委員会	委員会室
26 日	洲本市・南あわじ市衛生事務組合決算審査	やまなみ苑
〃	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会定例会	センタープラザ
〃	淡路政経懇話会 8 月例会（議長出席）	洲本商工会議所
28 日	地方行政課題研究会（議長出席）	ラッセホール
〃	兵庫県市議会議長会对県要望（議長出席）	兵庫県庁

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

令和元年8月29日

市 長	守 本 憲 弘
副 市 長	馬 部 総 一 郎
教 育 長	浅 井 伸 行
総 務 企 画 部 長	木 田 博 仁
総 務 企 画 部 付 部 長	青 島 一 路
危 機 管 理 部 長	北 口 力
市 民 福 祉 部 長	山 崎 稔 弘
産 業 建 設 部 長	喜 田 憲 和
教 育 委 員 会 教 育 次 長	仲 山 和 史
総 務 企 画 部 兼 副 部 長 ( 企 画 担 当 ) つ な が り 開 発 室 長	前 田 秀 美
市 民 福 祉 部 副 部 長 ( 福 祉 担 当 )	西 庄 登
産 業 建 設 部 長 副 ( 商 工 観 光 ・ 教 育 連 携 担 当 ) 兼 商 工 観 光 課 長	川 上 洋 介
産 業 建 設 部 長 副 ( 農 林 水 産 担 当 )	岩 城 数 馬
産 業 建 設 部 長 副 ( 建 設 ・ 農 地 整 備 担 当 )	和 田 昌 治
会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	河 井 達 雄

令和元年8月29日

南あわじ市議会  
議長 原 口 育 大 様

総務文教常任委員会  
委員長 木 場



## 委 員 会 調 査 報 告 書

第80回南あわじ市議会定例会において総務文教常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

## 2 調査の経過

平成30年11月21日、第80回南あわじ市議会定例会において総務文教常任委員の選任が行われ、5回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている関係団体へ管外調査を3日間にわたって実施した。

### (1) 所管事務調査のため開催した委員会

平成31年1月18日、2月4日、4月22日、令和元年7月22日、8月13日

### (2) 管外調査

令和元年5月8日～10日

#### ○愛知県一宮市

- ・人型ロボット「Pepper」を使ったプログラミング教育について

#### ○静岡県焼津市

- ・ふるさと納税について
- ・公共施設マネジメントについて

#### ○静岡県富士市

- ・災害対策について
- ・災害時トレーラー型トイレの導入について



### 3 調査の結果

#### (1) 市の総合的企画、調整について

総合計画について、人口が減少する中で、どの地域においても子育て環境の充実と地域の活性化という2つの側面からバランスのとれた地域づくりが必要であるとの意見がありました。

ふるさと納税のPRについて、南あわじ市から島外へ出ている方々へのアクションが大事である。その方々にダイレクトメールを送るシステムや南あわじ市に在住している家族への働きかけなど、様々な方法によるアクションを検討していただきたいとの意見がありました。

職員の電話対応について、職員によっては心地よい対応をしてくれる職員もいれば、声が小さくてなかなか聞き取れない職員もいるので、職員によって対応の差が生じないように接遇研修を行っていただきたいとの意見がありました。

南あわじ市ふるさと音頭について、一部の地域の祭りや学校の行事で活用していただいているが、もっと多くの市民に浸透するようにカラオケや他のイベントなど、幅広く活用していただきたいとの意見がありました。

#### (2) 市有財産の維持管理と財源の確保について

公共施設の維持管理について、更新ができた施設や今後5年間で更新が必要な施設の整理を行い、進捗状況が把握できるようにするべきとの意見がありました。

学校跡地施設利活用事業について、契約事業者の事業状況、近隣の地域の状況を調査し、地域の活性化につながるように活用方法の改善を行っていただきたいとの意見がありました。

庁舎の管理について、汚れが目立つ部分については、完全に除去する対策をとり、今後も徹底して庁舎を清潔に美しく保っていただきたいとの意見がありました。

#### (3) 国際交流及び友好市町の調査について

韓国慶尚南道南海郡との友好交流について、青少年のスポーツ交流を軸に行っているが、ごく一部の関係者の間でのみ活動され、市民・島民への認知度が低い。今後どのように交流を広めて盛り上げていくのか、方向性を示すよう淡路市長会へ働きかけていただきたいとの意見がありました。

#### (4) 消防・防災対策の推進について

大規模災害が発生した場合、気候が厳しい折の避難所運営について、災害弱者、高齢者の方の健康管理が大きな課題である。非常用電源の確保、また体育館などの避難所に空調設備の設置を事業課題として掲げるとともに国への働きかけも必要ではないかとの意見がありました。

総合防災訓練について、子どもの参加が少ない。避難意識の向上のためにも、子どもの防災教育を今以上に推進していただきたいとの意見がありました。

防犯カメラの設置について、民間が設置する場合は、申請の上、市や県の補助金

を利用できるが、設置可能な電柱等がない場合には、防犯カメラを取り付ける柱の費用を負担しなければならない。行政や警察が積極的に防犯カメラを設置するなど、支援できないかとの意見がありました。

(5) 教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について

成人年齢が今後18歳に引き下げられた場合の成人式の運営方法について、対象者の中にはちょうど受験の最中である方々がいるなどの課題が考えられる。従来通り20歳の方々を対象に成人式を開催するのか、また違う形で開催するのか、実行委員会の方々が混乱しないように、どのような方向性で開催していくのか検討しておく必要があるとの意見がありました。

三原志知小学校の校舎について、教室の雨漏りや一部の壁がひび割れの箇所がある。西淡志知小学校との統合までもう少しであるが、事故が起こらないよう最低限の教育環境の整備をお願いしたいとの意見がありました。

プログラミング教育について、機械を操作する方法を学ぶことが目的ではなく、論理的思考を学ぶことが本来の目的である。その点から考えて、学ぶ方法がいろいろあるので、柔軟な視点を用いてこれから取り組んでいってほしいとの意見がありました。また、プログラミングを指導する人材をどう確保していくのかが、今後学校現場の中で大きな課題であるとの意見がありました。

小規模校が増える中で、現状の小学校数や教員数を維持できるのか心配である。教科担任制度や小中一貫校に関する情報を把握し、教育委員会として今後の方針を議論しておくべきであるとの意見がありました。

近年は室内における熱中症も懸念される中で、小学校の特別教室に空調設備が整備されておらず、夏場の授業中における熱中症が心配される。また、本年度より八木小学校で試験運用しているアフタースクール事業についても、特別教室を利用する場合があります。環境面への配慮が高まっている。児童の身体の安全のために、特別教室への空調設備の整備を進めてほしいとの意見がありました。

(6) 青少年の健全育成について

小中学生のスマートフォンの利用について、所持率の把握や利用時のマナーの指導など、学校や保護者に任せるのではなく、教育委員会も連携をとり、問題が起こらないよう対策に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

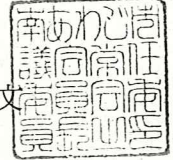
(7) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

政治活動事務所用の立て看板について、後援会事務所や連絡所がない場所に設置されている場合がある。事務所の実態がない場所に設置された看板について、選挙管理委員会から注意喚起をしていただきたいとの意見がありました。

令和元年8月29日

南あわじ市議会  
議長 原 口 育 大 様

産業厚生常任委員会  
委員長 谷 口 博 文



## 委 員 会 調 査 報 告 書

第80回南あわじ市議会定例会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

# 調 査 概 要

## 1 調査事件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

## 2 調査の経過

平成30年11月21日、第80回南あわじ市議会定例会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、5回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている自治体への管外調査を3日間にわたって実施した。

### (1) 所管事務調査のため開催した委員会

平成31年1月17日、2月18日、4月18日、令和元年7月25日、8月23日

### (2) 管外調査

令和元年5月22日～24日

#### ○大阪府茨木市

- ・認知症高齢者支援について

#### ○愛知県阿久比町

- ・高齢者おかえりサポート事業について

#### ○三重県伊賀市

- ・着地型観光について

### 3 調査の結果

#### (1) 税の賦課徴収について

確定申告において、対応する職員によっては、処理時間が長い場合がある。書類の不備等が原因であることもあるが、できるだけ円滑に進むように努力していただきたいという意見がありました。

#### (2) 生活環境の整備推進について

ごみの不法投棄がみられるので、環境パトロールを強化し、市民に迷惑がかからないようにしていただきたいという意見がありました。

生ごみのごみ全体に占める割合が25%程度となっており、ごみの焼却費用を減額するには生ごみの減量化が重要である。生ごみ処理機の補助について、PRをもっと積極的に行い、家庭での生ごみの減量化につながるよう努力していただきたいという意見がありました。また、ごみ処理の広域化について、進捗状況を随時報告していただきたいという意見がありました。

#### (3) 福祉対策について

令和2年4月開始予定の病後児保育について、就学前の子どもを対象にすることであるが、小学校低学年の児童も対象に含め、利用料金については、一律ではなく、応能負担にすることを求めるとの意見がありました。

#### (4) 介護保険と高齢化社会対策について

認知症高齢者が行方不明になった場合の捜索について、市役所や警察など関係機関が情報を共有しており、発見につなげるということであるが、情報を共有する機関が限られると発見が遅くなる。個人情報や、家族の意向など配慮しなければならないことがあるとは思いますが、地域の民生委員や自治会長には情報提供をし、早期発見につながるようしていただきたいという意見がありました。

#### (5) 医療体制と健康づくりの推進について

淡路島島内では男性の骨折患者が多い。骨粗しょう症治療による骨折予防が課題となっている。町ぐるみ健診において、骨粗しょう症検診の対象者に男性も含めるように体制を整えていただきたいとの意見がありました。

#### (6) 商工業及び観光の振興について

灘黒岩水仙郷はとても魅力のあるところであるにもかかわらず、客数が伸びていない。創意工夫が足りないのではないか。閉園後すぐに来期に向けての対策を指定管理者と協議し、頑張ってもらいたいとの意見がありました。

淡路ファームパークイングランドの丘について、先を見据えて、本気で集客を伸ばすことを考え、改修計画を立てていただきたいという意見がありました。

着地型観光の旅行商品について、観光業者、生産業者などと十分協議をし、きめ

の細かい商品のプランニングが必要である。情報を共有し、一体感を持って商品づくりを行っていただきたいとの意見がありました。また、二度、三度と南あわじ市に観光に来てもらうためには、二次交通の充実が不可欠である。宿や観光地と連携して、自家用車で来ていない観光客が気持ちよく観光できるような仕組みが必要であるとの意見がありました。

新製品・新技術開発等促進事業について、新製品や新技術の開発は産業の発展のために非常に重要である。しかし、この事業の実績が低い。もっと力を入れて、情報発信をするように努力していただきたいという意見がありました。

商店等でキャッシュレス化が進められている。インバウンドを呼び込むためにはキャッシュレス化が非常に重要であると考え。商工会と連携して体制を整えていただきたいという意見がありました。

#### (7) 農業振興の推進について

有害鳥獣対策について、農業を続けていくことができるよう、新しい施策等も取り入れ、市民と行政が一体となり知恵を出し合いながら、努力していくことを期待するという意見がありました。また、国や県の支援対策や補助事業等について、地域で活用できるようなものがあれば、地域に情報を提供していただきたいという意見がありました。

日本の農業生産地帯が一致団結し、国に対しても意見を言い、日本の農業、南あわじ市の農業が再生産可能な所得を確保できるものになるよう努力をしていただきたいという意見がありました。

J Aあわじ島では、建設業と同じように農業でも普通作業員1万8,200円の日当を目指そうという考えのもと、所得率、経費率の試算を行っている。経費というのは規模や生産物で変わるので、J Aあわじ島と協力して、数値化し提示していただきたいという意見がありました。

市で保有しているドローンについて、メンテナンスや操作訓練をし、いざ使うようになったときに、使用できる状態にしておく必要があるとの意見がありました。

#### (8) 都市整備事業の推進について

県河川の改修工事について、県と十分に情報を共有して進める必要があるという意見がありました。

オニオン道路の整備について、住民は開通を待ちわびているので、県と協力しながらオニオン道路開通に向けて取り組んでいただきたいという意見がありました。

# 決算審査特別委員（案）

第 86 回 定 例 会

1	番	土	井	巧
3	番	阿	部	計 一
4	番	谷	口	博 文
5	番	北	村	利 夫
6	番	長	船	吉 博
7	番	熊	田	司
8	番	小	島	一
9	番	廣	内	孝 次
10	番	木	場	徹
11	番	吉	田	良 子
12	番	蛭	子	智 彦
13	番	北	条	志 津 子
14	番	太	田	康 文
15	番	登	里	伸 一
16	番	中	村	三 千 雄
17	番	久	米	啓 右